
黒板ロマンス

アズマ ユキヒコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒板ロマンス

【Nコード】

N0998Z

【作者名】

アズマ ユキヒコ

【あらすじ】

私は美術の武田先生が好きですが、武田先生は強豪漫研部の顧問です。弱小美術部の私は、どうすれば武田先生に美術部の顧問になつてもらえるでしょうか。美術部顧問英語教師の先生と美術部を強豪にして武田先生を取り戻すことにしました

11月11日

秋気いよいよ深まって朝夕寒冷を覚える季節になってきました。

陸上部のランニングのかけ声がグラウンドに響きます。

吹奏楽部の新生入生は、春に比べてずいぶんとトランペットが上手になりました。

そんなにぎやかな秋の音を私と先生は、離れた静かな教室で聞いています。

「先生」

「うん？」

「先生は英語の先生なのに、どうして美術部の顧問をしてるんですか」

「美術の武田先生は漫画研究部の顧問をしてるからだよ」

「……」

「そしてこの北高には英語部はない」

「あの」

「うん」

「あの、普通はこう、美術の先生は美術部をやるべきだと……」

「漫画研究部は漫画好きの先生なら誰だってできるっていいたいのか？それは差別だよ」

「いえ、そんなことは言っていないんですけど」

「そうか」

「漫画研究部は漫画甲子園常連だし、それを目当てで北高を受験する生徒もいる。やっぱり力の入れ方が違うんだろ」

美術部員は私一人です。

最初は休日は部活動がなく、簡単にサボれるからという理由で私の他に5人の部員がいましたが、

夏休みからだんだんこなくなってやめてしまいました。

美術部員は私一人です。

「俺じゃ不満か？」

「いえ」

「説得力ないなあ。まあ俺ももうオッサンだもんな」

「まだお若いじゃないですか」

「ぎこちないな」

先生は足をくんでゆつくりといすに深くもたれかかりました。両手をおなかのあたりで組みます

「何歳にみえる？」

「20くらい」

「大きく出たなあ。お前はたまにそういう大胆なことをするよな。ブブー39です」

「武田先生は結婚してらっしゃるんですか」

「ん？」

「彼女いらっしゃるんですか？」

「話変えたなあ。一瞬わかんなかったよ。多分独身」

「そうですか」

「ほっとした？何？武田先生がすきなの」

「ちがう」

「赤い」

「何が」

「顔」

「先生、5時です」

「あ、そうか。今日の部活はここまで」

「ありがとうございました」

11月12日

向寒の季節になり、日ましに寒さがつのります今日このごろ
本校では、明日から期末テストが行われます。
だから今日の部活動時間は1時間のみです。

「久しぶりの部活ですね、先生」

「ああ、本当だな。期末テストがあつたからな」

「忘れたい」

「君は絶対に日本から出ないほうがいい」

「自覚しています」

「あの問いに対してあんな答えをだしたら撃たれるだけじゃすまない」

「反省しています」

「ならいいけど」

先生はシャツをひじのしたあたりでまくりながらいいました

「そうだ、君は絵をかかないのか」

「描いてます」

「いや、キャンバスとかにかけばいいのに・・・スケッチブックとか、画用紙とか残るものに」

「黒板ではだめですか」

「部活終わるときに消しちゃうだろう」

「消したらダメですか」

「もったいない。いい絵なのに」

「・・・」

私は絵を消しました。

「あつ」

「いいの。気に食わなかったから」

「そうか」

「先生、部活おわりです」

「えっ、まだ1時間しかたってないぞ」

「テスト前ですから」

「ああ、今日の部活動はここまで」

「ありがとうございます」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0998z/>

黒板ロマンス

2011年12月3日21時56分発行